

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

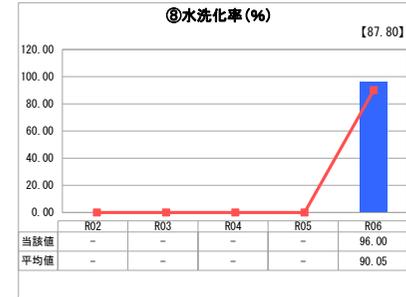
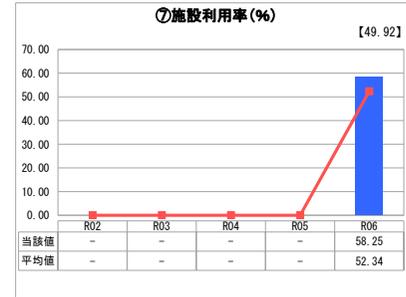
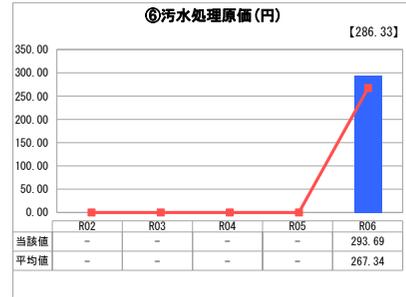
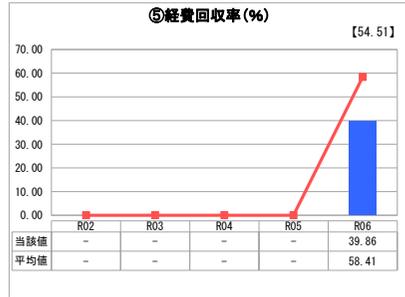
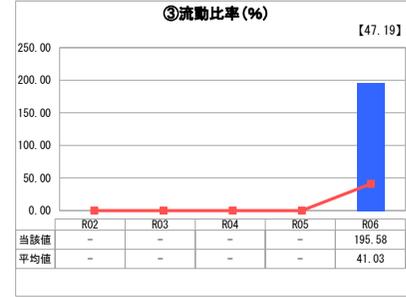
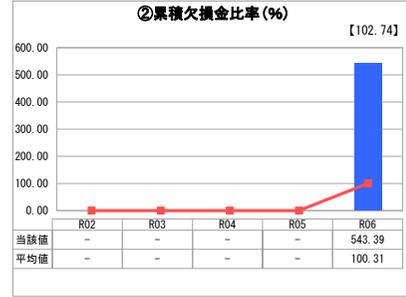
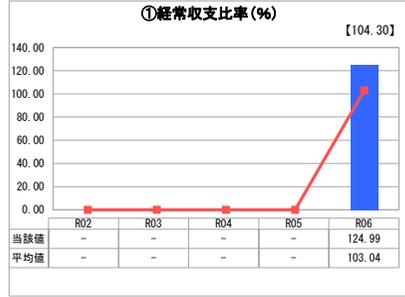
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	72.04	27.37	116.89	2,145

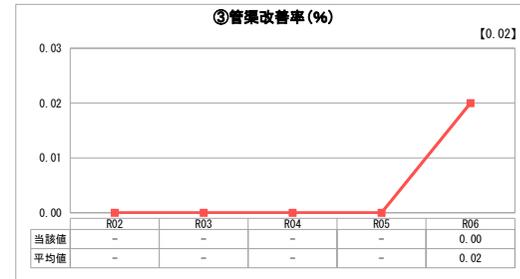
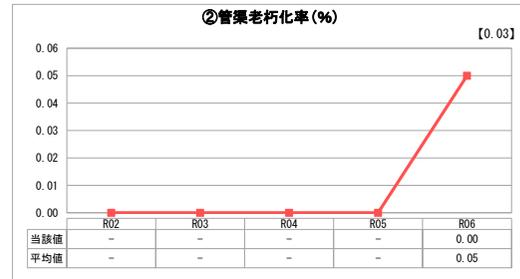
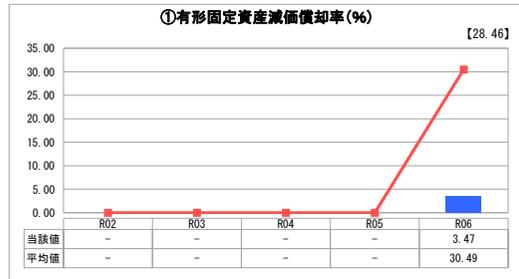
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,620	38.64	456.00
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,795	7.73	620.31

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率  
類似団体平均を上回っているが、一般会計からの繰入金に依存した経営となっているため、経営の効率化及び自己財源の確保に向けた取組が必要である。

②累積欠損金比率  
経常費用に対して資本費（減価償却費及び支払利息）の比率が高い傾向にあることが要因と推測される。今後は収益性の向上を図っていく。

③流動比率  
100%を大きく超えているが、今後も企業債の償還は続いていくため、現金等の確保に向けた取組が必要である。

④企業債残高対事業規模比率  
企業債残高に対しての一般会計への依存度が高いことから比率は0%となっている。

⑤経費回収率  
39.86%と類似団体平均及び全国平均を下回っており、汚水処理費を使用料で賄っていない状況である。そのため、一般会計繰入金への依存度も高く、今後は使用料改定の検討を進め、経営改善に取り組んでいく。

⑥汚水処理原価  
処理場費等の維持管理費が掛かることから、汚水処理原価が293.69円と類似団体平均値を26.35円上回っている。効率的な施設運営による維持管理費の削減に取り組む必要がある。

⑦施設利用率  
類似団体平均及び全国平均より施設利用率が高い状況ではあるが、施設の統廃合の検討等を進め適切な施設規模を検討していく。

⑧水洗化率  
類似団体平均及び全国平均を上回っている。今後も継続促進に努める。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は3.47%であり、類似団体平均及び全国平均を下回っている。しかしながら、処理場及び管路など固定資産を多く所有していることから、将来的にはこの比率は大きく上昇していくものと考えられる。施設更新及び施設の統廃合等を計画的に進めていく必要がある。

②管渠老朽化率  
法定耐用年数を超えた管渠はない。今後は更新需要が高まり数値が上昇することが見込まれる。

③管渠改善率  
当該年度に管渠の更新は行ってない。今後は更新需要が高まり数値が上昇することが見込まれる。

## 全体総括

経常収支比率が高く、経常的収入が経常的支出を上回っているものの、経費回収率が低い状態であることから、使用料収入だけでは経費を賄いきれていない状況であり、一般会計からの繰入金への依存度が高い状態にある。使用料改定の検討を進めるとともに、施設の更新・統廃合等についても計画的に進め経営改善を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。